

計時・計測

正確な情報の記録・通知は、研究・分析材料や合理化の手段にとどまらず、会社・学校・レジャー施設の入退出管理や食物・農作物のトレーサビリティに代表される安全にかかわる分野など、あらゆる用途で活用され、その社会的な価値を更に高めています。

これまでスポーツ計測をはじめとしたシビアな競技の世界で培われた計時・計測の技術を、身近な生活の中でも広く役立たせることであらゆる人々の暮らしに貢献してまいります。

ICタグ

「モノ」や「場所」を自動認識

多数個体のデータを同時にそれぞれ記録します

シールラベル、タグ、コイン、キー、カプセルなど様々な形状のものにICチップと小型のアンテナを埋め込み、そこに記憶された情報を電波によって直接触れずに読み取る事が出来ます。

「モノ」や「場所」を自動認識し、且つ同時読み取り管理ができ、競技スポーツの計測、会社・学校・レジャー施設の入退出管理、食物・農作物のトレーサビリティなどへの利用が可能です。



ICタグ活用例

競走馬調教

コース追い:実際のレースに近いコースでの調教
坂路(はんろ)追い:坂道を走らせる調教

調教での計測データは、厩舎関係者に調教メニューの組立てや馬の健康管理に活用されます。

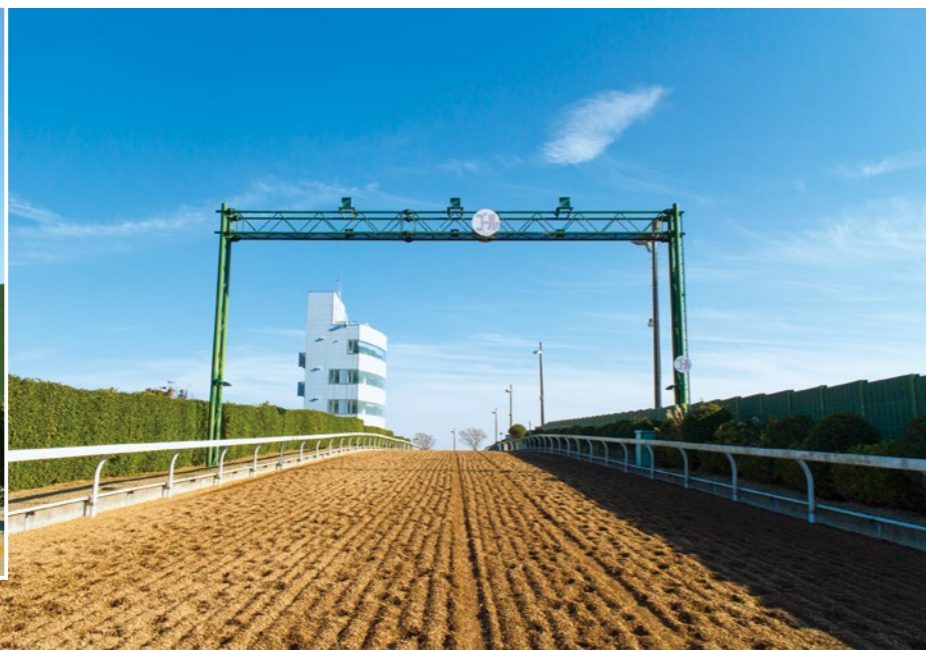


※調教馬の馬具へICタグを装着

※ハロンごとの受信アンテナ



※制御ボックス(ハロン盤)



※ハロンゲート

マラソン計時システム

毎年約15のマラソン・駅伝大会の公式計時・計測の運営を行っています。

1982年からマラソンサポートに従事し、従来の目視による順位判定と手動計測による時間計測を、低消費電力で受信性能の高いICタグを採用する事で正確な着順判定及び1/1000の時間計測を実現しています。たくさんの参加者へスタートラインを通過してからゴールするまでの、正確な「タイム」を提供しています。

